

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	成人式				継続		
コード	26	-	23	-	03	-	00
担当部署	文化スポーツ部	文化振興課	文化振興担当	予算事業名	地域文化支援		
				予算事業コード	会計 10	款 02	項 01 目 16

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)	2章 学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち	根拠となる法令、条例等	なし
方向性(節)	1節 活力ある地域を作る生涯学習の推進	個別計画等の名称	第二次川越市生涯学習基本構想・基本計画(後期計画)
施策	2 生涯にわたる学習活動の推進		
細施策	2 社会の変化に応じた学習機会の提供		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	当該年度中に20歳の誕生日を迎える市内在住者を対象とする。成人に達した青年男女の新しい門出を祝福するとともに、成人としての自覚と市民としての意識を高めることを目的とする。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	毎年度 川越市・川越市教育委員会の共催で1月の第2月曜日(成人の日)に成人式を開催する。(開式の言葉、国歌斉唱、式辞、お祝いの言葉・来賓紹介、新成人誓いの言葉発表、閉式の言葉)

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額					6,636	6,649	
事業費	A	7,324	6,779	5,940	5,696	5,696	5,696
	B	5,180	5,180	9,620	7,400	3,700	0
総コスト(C=A+B)		12,504	11,959	15,560	13,096	9,396	5,696
正規職員(1年間の従事人数)		0.70人	0.70人	1.30人	1.00人	0.50人	
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		12,504	11,959	15,560	13,096	9,396	5,696

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
活動	成人式開催回数	回	1	1	1	1	成人式典の回数
	成人式対象者数	人	3,638	3,490	3,455	3,466	年度ごとの成人式対象者数
成果	成人式出席者数	人	2,363	2,217	2,126	2,162	年度ごとの成人式出席者数
成果	成人式出席率	%	65.0	63.5	61.5	62.3	年度ごとの成人式出席率

中心指標の考え方	本事業は、成果指数を中心に評価する。
指標に基づく評価	成人式対象者は減少傾向にあるが、出席率についてはさほど変化していない。今後も出席率が確保出来るよう取り組んでいく必要がある。

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	課題はない
成人式は、対象者が毎年変わるためその年によって出席者数も変化する。出席率については、例年60%は超えているが、大きな変化はない。平成22年度から公募による新成人者の実行委員会を組織して式典までの準備と当日の運営を行っている。川越市では、式典が主でイベントは行っていないが、参加者にとっては同窓会のような感覚で参加していると思われる。	

(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	成人式は、全国でそれぞれ開催されているが内容は様々である。川越市の場合は、式典がメインである。参考に近隣市の出席率は、次の通りです。 ・川口市-58.9% ・越谷市-71.5% ・さいたま市-74.2% ・所沢市-66.5%
-------------------------	---

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	成人式は、参加者にとって一生に一度の式典であるため、事業を廃止することは考えていない。しかし、財政状況が厳しい折、成人式に係る事業費が年々減少している。対象者は、その年により変化するため事業費を毎年削減していくことは難しい。一同が集う成人式のあり方が良いのかは、今後、検討していくことが必要ではないかと思う。
---------------------	--

(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
成人となったことを市としてお祝いすることは、意義あることと認識している。出席者も概ね60%を超えており、現状のまま開催していきたいと考えている。	